

熊野路田辺

紀伊の山懷に抱かれた聖地と温泉を巡り、豊かな海山の賜物を楽しむ「熊野」の旅

世界遺産 熊野本宮大社

KUMANOJI
TANABE

和歌山県田辺市総合観光ガイドブック

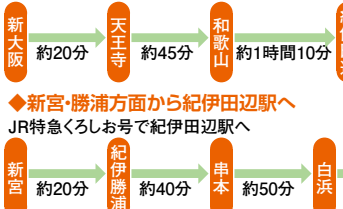
交通のごあんない



電車

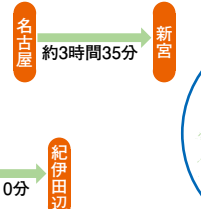
◆大阪方面から紀伊田辺駅へ

JR特急くろしお号で大阪方面から紀伊田辺駅へ



◆名古屋方面から新宮駅へ

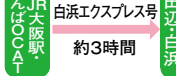
JR特急南紀号で新宮駅へ



バス

◆大阪から田辺市街地へ

田辺・白浜行き高速バス



◆高野山から

世界遺産「高野山・熊野」聖地巡礼バス

運行期間：4月～11月下旬



◆白浜・田辺市街地から本宮(熊野本宮大社・熊野本宮温泉郷)へ

熊野本宮大社前



◆近鉄大和八木駅・五条から本宮へ

熊野本宮大社前



◆那智勝浦・新宮から本宮へ

熊野本宮大社前



車

◆大阪方面より(約2時間)

松原JCT(大阪)から阪和自動車道経由で約130km。南紀田辺ICから一般道へ下りれば田辺市街地です。熊野古道長尾坂、潮見峠越方面へは、南紀田辺ICからそのまま国道42号を「白浜」方面へ天王池交差点を左折、県道35号・216号を経て長野方面へ。熊野古道中辺路・北郡越・赤木越方面へは、上富田ICからそのまま国道42号を「白浜」方面へ向い、岩崎交差点を経て国道311号に入るのが分かりやすいルートです。



◆高野山から(約2時間30分)

高野龍神スカイラインから国道371号を通過して田辺市街まで約90km。 ※冬季、高野龍神スカイラインはチェーン規制となります。

◆新宮・勝浦から(約1時間50分)

海岸沿いの国道42号・紀勢自動車道を通して、約2時間で田辺市街地へ。本宮経由(R168→R311)で約90km。新宮から田辺市街地への場合、本宮経由の方が近くなります。

◆田辺市街地から本宮へ(約1時間50分)

明光バス・快速熊野古道号を利用。 約1時間25分 約2時間20分

◆南紀白浜空港から田辺市街地へ(約1時間50分)

明光バス・タクシー 約30分

◆関西国際空港から田辺へ(約1時間30分)

JR関空快速 約12分

◆羽田から南紀白浜空港へ(約1時間10分)

JAL 約1時間10分

◆南紀白浜空港から中辺路・本宮方面へ(約1時間50分)

明光バス・快速熊野古道号を利用。 約1時間25分 約2時間20分

◆田辺市街地から本宮へ(約1時間50分)

明光バス・快速熊野古道号を利用。 約1時間25分 約2時間20分

◆南紀白浜空港から田辺市街地へ(約1時間50分)

明光バス・タクシー 約30分

◆関西国際空港から田辺へ(約1時間30分)

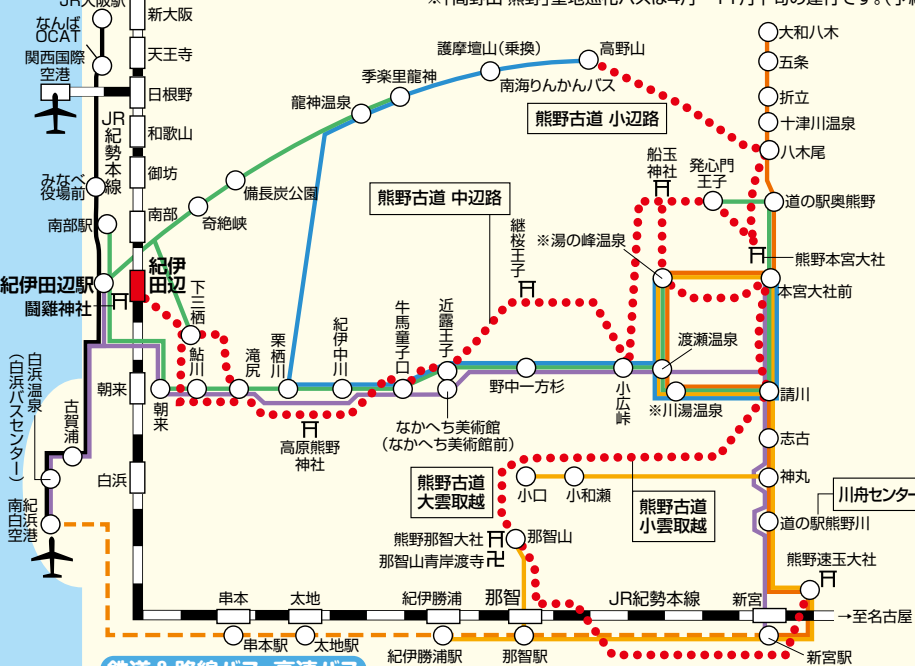
JR関空快速 約12分

◆羽田から南紀白浜空港へ(約1時間10分)

JAL 約1時間10分

田辺・熊野への交通アクセス

※「高野山・熊野」聖地巡礼バスは4月～11月下旬の運行です。(予約制)



鉄道 & 路線バス・高速バス

熊野古道	0570-00-2486	熊野御坊南海バス	0735-22-5101
JR	0739-22-2100	白浜空港リムジンバス	0735-22-5101
龍神バス	0739-22-2100	奈良交通	0742-20-3100
「高野山・熊野」聖地巡礼バス	0739-22-2100	明光バス快速熊野古道号	0739-42-3008
明光バス/JRバス	0739-42-3008		

※熊野御坊南海バスは、一部の便のみ湯の峰温泉・川湯温泉に停車します。

お問合せ

■田辺地区の観光に関するお問い合わせ窓口

田辺観光協会 田辺市観光振興課
0739-26-9929 0739-26-9929(直)
<https://www.tanabe-kanko.jp/> <https://www.city.tanabe.lg.jp/>

田辺市観光センター

0739-34-5599

田辺市街なかポケットパーク

0739-33-9030

■龍神村の観光に関するお問い合わせ窓口

(公社)龍神観光協会
0739-78-2222 <http://www.ryujin-kanko.jp/>

■鮎川・富里・三川地区の観光に関するお問い合わせ窓口

大塔観光協会
0739-48-0301 <https://www.oto-tourism.jp/>

■中辺路町の観光に関するお問い合わせ窓口

中辺路町観光協会(熊野古道館)
0739-64-1470 <https://www.nakahechi.jp/>

■本宮町の観光に関するお問い合わせ窓口

熊野本宮観光協会
0735-42-0735 <https://www.hongu.jp/>

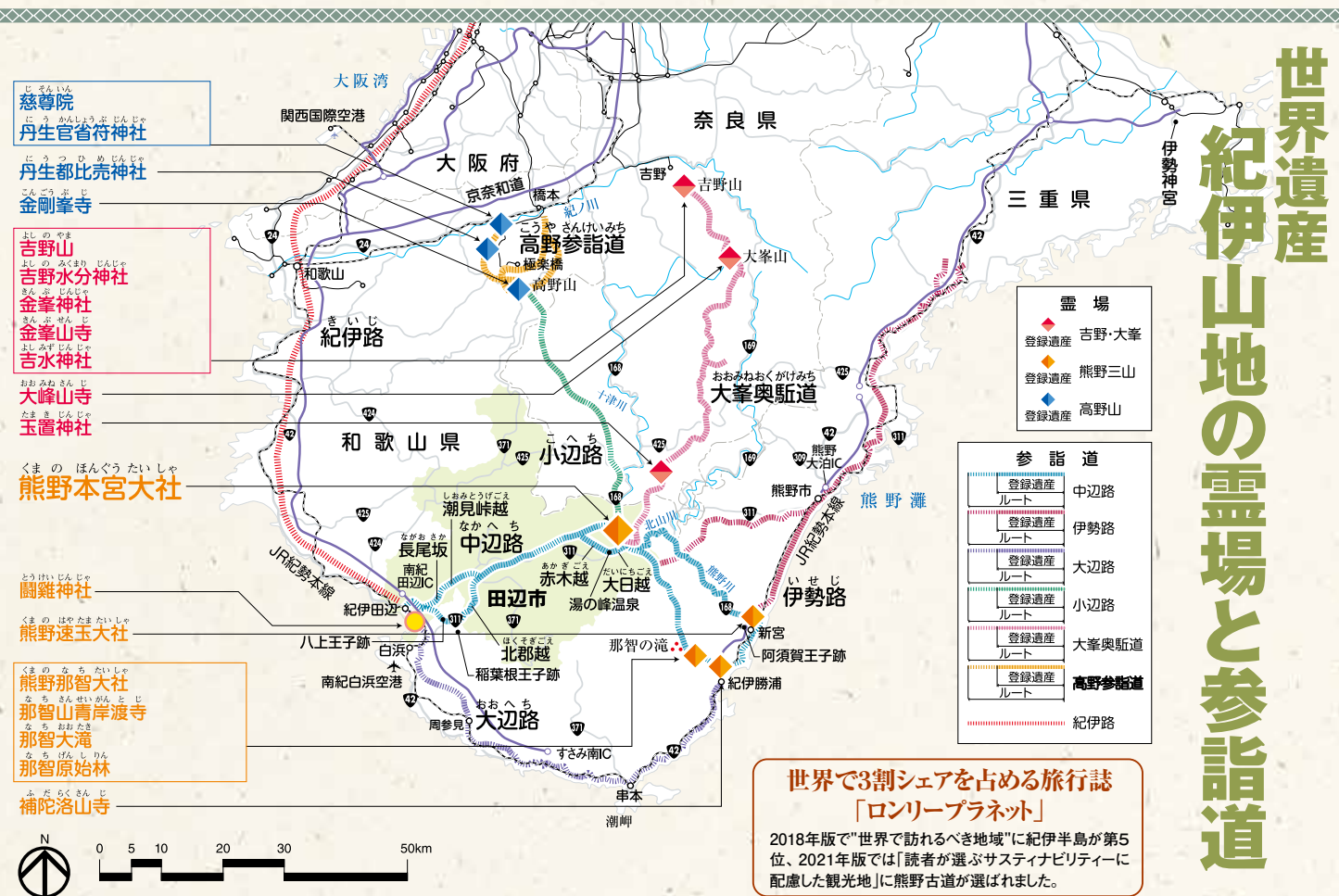
一般社団法人

田辺市熊野ツーリズムビューロー

〒646-0031 和歌山県田辺市湊1番20号

0739-26-9025

<https://www.tb-kumano.jp/>



世界遺産 紀伊山地の霊場と参詣道

世界で3割シェアを占める旅行誌「ロンリープラネット」
2018年版で「世界で訪れるべき地域」に紀伊半島が第5位、2021年版では「読者が選ぶサステイナビリティに配慮した観光地」に熊野古道が選ばれました。



熊野古道とは
熊野三山へ通じるいにしへの参詣道を熊野古道と呼びます。平安時代に始まった上皇たちの熊野御幸によって知られるようになった熊野信仰は、時代が下るにつれ武士や庶民にまで広がり、一時は「蟻の熊野詣」と呼ばれるほど多くの人々が熊野を目指しました。熊野古道にはいくつものルートがありました。京都・大阪からのメインルート紀伊路、高野山と熊野を結ぶ小辺路、伊勢と熊野を結ぶ伊勢路です。紀伊路はさらに田辺で紀伊山地に分け入る道と海岸線を南下する道にわかれ、後に前者を中辺路、後者を大辺路と呼ぶようになりました。中辺路は、平安時代から鎌倉時代にかけて上皇たちが参詣を100回以上も繰り返した熊野への公式参詣道（御幸道）として知られます。険しい山道が続く中辺路を歩くことは修行でもあり、困難が多いほど熊野の神の救いも大きいと人々は苦しい道のりを越えて熊野をめざしました。



熊野の神の使い八咫鳥
サッカー日本代表のシンボルマークになっている3本足の鳥が八咫鳥です。海上から遠望した那智の滝を目印に上陸した神武天皇を大和の地まで導いたと「日本書紀」にも記されている伝説の鳥です。熊野の神の使いとされ、日本神話の世界では太陽の化身とされています。



上皇たちの御幸道だっただけに、紀伊路・中辺路沿いには熊野九十九王子と呼ばれる熊野の御子神が祀られていました。京都伏見から淀川を舟で下った上皇たちは、大阪に上陸した後、一番王子とされる窪津王子に参拝し、街道沿いの王子を巡拝しながら長い旅を続けました。上皇たちの熊野御幸の際には、王子のなかでも格式高い五跡王子で歌会などが催されたことが、後鳥羽上皇に随行した藤原定家の『後鳥羽院熊野御幸記』にも記されています。困難な旅を越えて熊野に詣でるのは体何のためだったのでしょうか。熊野は昔から蘇りの地とされていました。この意味は、黄泉の国熊野に足を踏み入れ、一度死んで魂を浄め、熊野から出るころには再生を果たすということです。前世の罪を速玉が浄め、現世の縁を那智が結び、本宮は来世を救済するといわれ、三山を巡れば、過去、現在、未来の安寧を得る。これが熊野三山の「利益」と考えられたのです。熊野の神は「浄不浄をとわず、貴賤にかかわらず、男女をとわず」受け入れてくれる神だったからこそ、上皇から庶民まで熱狂的な信仰を集めたといわれます。熊野古道は罪障の消滅と再生を願う人々の足跡が残る祈りの道なのです。



熊野速玉大社 MAP 和歌山県 E-5
熊野川河口に鎮座する熊野三山の一つ。主祭神の熊野速玉大神は熊野川の神格化に起源を持つといわれています。

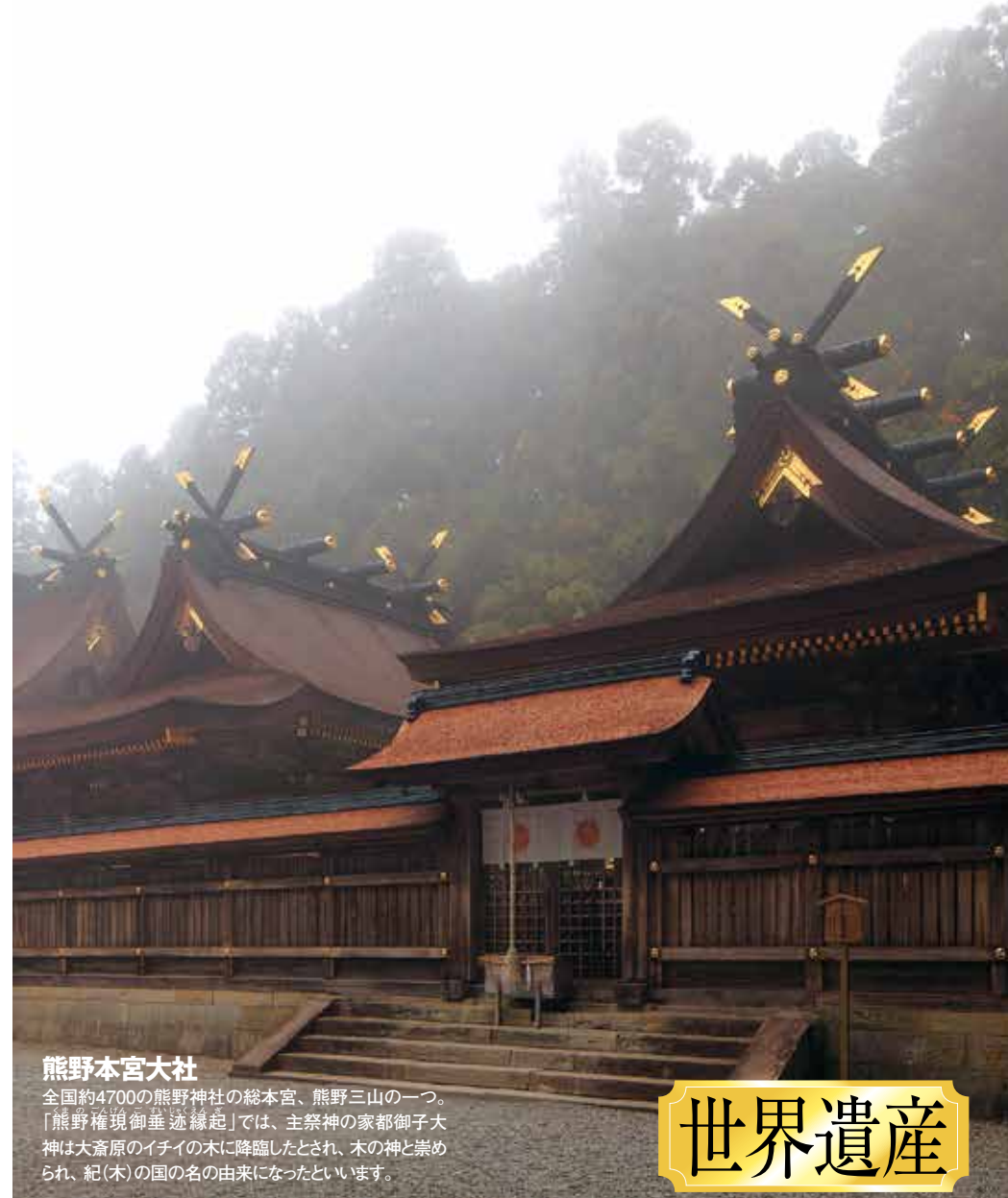


熊野那智大社 MAP 和歌山県 E-5
那智山中腹に鎮座する熊野三山の一つで、その起源是那智大滝の信仰にあるとされています。那智の火祭でも有名です。



那智山青岸渡寺 MAP 和歌山県 E-5
西国巡礼第一番所です。明治の神仏分離までは熊野那智大社と一体で、現在の本堂は当時の如意輪堂だったものです。

熊野とは、大化の改新以前に熊野国があった場所とほぼ一致します。重なりあう山々、鬱蒼と茂る樹林、その山を源にして流れ下る川はやがて広大な太平洋に注ぎます。ある時は豊かな実りを、またある時は猛々しく災害をもたらす自然に人々は神の恵みと怒りを見たのでしょうか。



世界遺産 熊野三山
神々の宿る聖地
世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」。霊場とは、熊野信仰の中心である「熊野三山」、修験道の拠点「吉野・大峯」、真言密教の根本道場「高野山」の三ヶ所のことです。深い山々が重なりあう紀伊山地では、自然崇拜に根ざした神道、外来の仏教、その両者を結びつけた修験道など、多様な宗教が育まれ、日本人の精神的、文化的側面に大きな影響を与えてきました。参詣道はこの三つの霊場を結び、また全国からの巡礼者が霊場を目指して歩いた道のことです。熊野とは、大化の改新以前に熊野国があった場所とほぼ一致します。重なりあう山々、鬱蒼と茂る樹林、その山を源にして流れ下る川はやがて広大な太平洋に注ぎます。ある時は豊かな実りを、またある時は猛々しく災害をもたらす自然に人々は神の恵みと怒りを見たのでしょうか。熊野三山の歴史は古く、なかでも熊野本宮大社は2018年（平成30年）には創建2050年を迎えました。熊野本宮大社は、かつて熊野坐神社と号していたように、熊野の神といえは本宮のことをさしたともいわれます。上古から「神のいます場所」とされた熊野が全国に知られるようになるのは、10世紀の宇多法皇の熊野御幸からです。平安時代には皇族や貴族が、中世になると武士や庶民にまで熊野信仰は広がってゆきました。紀伊山地に育まれた宗教のうち、神道を代表するのが熊野三山と呼ばれる熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社です。熊野三山の歴史は古く、なかでも熊野本宮大社は2018年（平成30年）には創建2050年を迎えました。熊野本宮大社は、かつて熊野坐神社と号していたように、熊野の神といえは本宮のことをさしたともいわれます。上古から「神のいます場所」とされた熊野が全国に知られるようになるのは、10世紀の宇多法皇の熊野御幸からです。平安時代には皇族や貴族が、中世になると武士や庶民にまで熊野信仰は広がってゆきました。

熊野古道中辺路

熊野古道その1

滝尻から野中へ

険しい道の多い熊野古道ですが、現在では標識も整備され比較的歩きやすいルートもあります。なかでも人気のコースのひとつが滝尻から野中に至る古道です。王子跡や古道のアイドルと呼ばれる「牛馬童子像」、熊野那智大社の方角にだけ枝を伸ばしている「野中の万杉」など見どころもたくさんあります。

模したという牛馬童子像を愛で、露ののどかな里山の風景を楽しみながらのんびり歩くこともできます。野中には継枝王子があります。境内を覆う樹齢800年という杉は那智山の方角にだけ枝を伸ばすので「万杉」と呼ばれます。継枝王子の真下にある日本名水百選の「野中の清水」にも立ち寄りたいたいものです。いしえから湧く名水は今も変わらず、疲れた体を癒してくれます。



牛馬童子像 MAP 1 D-3

野中から熊野本宮大社へ

継枝王子のある野中からスタートし、小広王子を過ぎると木の国ならではの杉林に分け入ります。上り下りの多い道ですが「草鞋峠」「岩神跡」「三越峠」の難所を越えてやると熊野本宮大社の神域の入り口、発心門王子にたどりつきます。発心門王子は五鉢王子のついで、かつては大きな鳥居があり、熊野詣の人々はその前でお祓いをしてから鳥居をくぐったといわれています。ここから、熊野本宮大社への道はそれまでの困難な道が癒すかのようなゆるやかな道が続きます。茶畑などののどかな里山の風景も心を和ませてくれます。いくつもの難所を越え、熊野本宮大社の神門をくぐるとき、今も昔と変わらぬ感動が湧き上がってくるでしょう。

長い苦しい旅の果てに熊野の神の神域に入った感動はどんなものだったのでしょうか。熊野本宮大社までは、熊野川の中洲にある熊野本宮大社の旧社地大斎原を望むことができます。熊野詣の人々が大社を望み、伏して拝んだという王子に立てば、現代の旅人もいしえと同じ感動を覚えます。旧社地大斎原は、音無川、熊野川、岩田川の三川が合流する場所にあります。昔は音無川には橋がなく、参詣者は音無川の流れて身を清めてから熊野本宮大社に入ったといわれています。



熊野古道語り部

熊野の歴史や伝説、古道を彩る四季の草花や里の暮らしなどを良く知る語り部と熊野古道を歩けば、古道への思いはより深いものになります。



発心門王子 MAP 1 C-4



滝尻王子 MAP 1 D-2



高原からの眺望 MAP 1 D-3 MAP 7 A-2



野中の一杉 MAP 6 B-4

- 王子
- トイレ
- コンビニ食料品店
- 土産販売所
- 公衆電話
- 緊急電話
- 自販機
- 休憩所
- 水汲場
- 朝日夕陽100選
- 見晴らしポイント
- バス停
- 神社
- スタンプ押印所

熊野古道を歩くときとても便利です。
地図の請求先
和歌山県観光連盟
073-422-4631

熊野古道館 MAP 1 D-2 MAP 7 B-1

町内の12の王子社にちなんだ12角形の建物が目印の熊野古道館は、熊野古道を中心とした中辺路の観光案内と歴史紹介を兼ねた休憩施設です。熊野懐紙や滝尻王子社の所蔵品などの展示をはじめ、古道に関する資料や中辺路の観光情報が満載です。古道歩きの下調べに、是非立ち寄ってください。



道の駅 熊野古道中辺路 MAP 1 D-3 MAP 6 A-1

国道311号沿いにあります。目の前に牛馬童子で名高い箸折峠への入り口があり、古道歩きの出発に最適です。名物よもぎ餅をはじめ、地元名産を販売、軽い食事でもできます。



道の駅 奥熊野古道ほんぐ MAP 1 C-5

熊野川に臨む道の駅です。熊野本宮大社をイメージした建物には、地元産品の販売所や軽食コーナー、熊野に関する展示コーナーもあります。熊野古道歩きには欠かせない古道弁当も販売しています(要予約)。また地元でとれた音無茶で作った「ほうじ茶ソフトクリーム」も人気です。



世界遺産熊野本宮館 MAP 1 C-5 MAP 4 B-3

自然と伝統、木材をコンセプトに建設されました。館内では和歌山県の世界遺産を中心に紹介。熊野、高野についての知識を深められます。熊野本宮については、曼荼羅・熊野信仰・修験道・時宗を軸に詳しく紹介。無料の館内ガイドやビデオによる解説、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」関連の書籍コーナーもあります。





長尾坂の石仏



捻木の杉



近世の石畳道と紀伊水道を望む峠 長尾坂・潮見峠越

田辺市郊外の三栖地区から長尾坂・捻木峠を経由して潮見峠に至る古道です。長尾坂はこのルートのうち、上三栖から水呑峠に至るおよそ1.7kmの坂道をさします。長尾坂も潮見峠越も南北朝期に開設されたといわれ、以降、中辺路の主経路として頻繁に利用されました。

捻木峠からの眺望



長尾坂



茶の端の役行者像

長尾坂・潮見峠越 北郡越

熊野古道 その3

能楽や歌舞伎で知られる「安珍・清姫物語」のヒロイン清姫は、現在の田辺市中辺路町真砂に生まれたとされています。一般に語られる物語は、安珍に逃げられた清姫が蛇となって日高川を渡り、道成寺の鐘に隠れていた安珍を鐘もろとも焼き殺したというものです。しかし、清姫の故郷の真砂に伝わる話は違います。清姫は真砂の荘司だった藤原清重の娘で、熊野参詣に向かう安珍は清重の屋敷を宿にしていました。

清姫伝説

美しい清姫に安珍はいつか妻にと言ひ寄り、清姫も安珍の言葉を信じました。ところが、熊野参詣を終えたら妻にすると約束しながら、安珍は真砂に戻りませんでした。清姫は、安珍の裏切りを知って嘆き悲しみ、富田川の淵に身を投げました。真砂には今も清姫の墓など、清姫伝説を語る遺跡がいくつも残されています。



清姫の墓

北郡越の道



北郡越

「熊野古道中辺路」のうち、鮎川から富田川沿いに現在の中辺路町北郡を経て、滝尻王子に至る古道です。10世紀前半から13世紀にかけての皇族・貴族の参詣には頻繁に使われましたが、15世紀以降は潮見峠越が主経路となり、江戸時代にはすでに「古道」と呼ばれていました。



道祖神と庚申塔



弘法大師を祀る祠

赤木越の道

熊野本宮大社へと続く道

熊野古道では滝尻から熊野本宮大社に至るルートが有名ですが、ほかの熊野古道ルートにも目を向けてみましょう。熊野本宮大社に至る中辺路から分かれて湯の峰温泉に至る**赤木越**、熊野古道中辺路最大の難所といわれる**大雲取越**・**小雲取越**、吉野山へと続く修験道の道**大峯奥駈道**、高野山と熊野本宮大社を結ぶ**小辺路**などです。大雲取越・小雲取越は、熊野那智大社から熊野本宮大社へと向かう道で、標高800～1000mの山塊を越えて続きます。また、短いながら湯の峰温泉と熊野本宮大社を結ぶ**大日越**も歩いてみたい道の一つです。



湯の峰温泉



玉置神社(大峯奥駈道) MAP和歌山県D-5



赤木越・大日越

熊野古道中辺路の三越峠から湯峯王子へと向かう道で、室町時代以降、より容易な通行が可能なルートとして開かれたといわれています。峠を越え発心門王子手前の船玉神社近くから分岐し、あとは本来の尾根道が続く約6.7kmの快適な道です。熊野詣の人々は湯の峰温泉で旅の疲れを癒すとともに身を清め(湯垢離)、大日越を歩いて熊野本宮大社に詣でました。



なべわり地藏

大峯奥駈道

「吉野・大峯」と「熊野三山」を結ぶ大峯奥駈道は、修験道の開祖役行者が開いた、修行の道です。修験道は、大自然の中での修行を通じて超自然のパワーを身に付けて衆生を救うという宗教です。大峯奥駈道はその険しさをはじめ、入山時期の制限や、女人禁制の場所もあり、観光目的で気軽に訪ねる場所ではありませんが、奥駈道の一部を歩くだけでも山岳のパワーと神秘の一端を感じることができます。



修験者

小辺路

「高野山」と「熊野三山」を結ぶ道です。高野山から本宮へは「熊野道」、本宮から高野山へは「高野道」と呼ばれました。高野山から奈良県の野迫川村、十津川村を通過して熊野本宮大社へ至ります。1000m級の峠を4つも越える険しい道ですが、宿舎や茶屋の跡、石畳道など古道らしいたたずまいを各所で見るができます。十津川村の果無集落では、絵のような風景がしばし険しい道を忘れさせてくれます。



果無集落

熊野古道 その2

赤木越・大日越 大雲取越・小雲取越 小辺路・大峯奥駈道



カヌー工房 MAP 1 D-3
インストラクターの指導で本格的なカナディアンカヌーを作成します。材料及び主な道具類は主催者で準備します。材料は全て地元産木材(杉・桧)でFRP加工を施します。詳しくはお問い合わせください。
☎0739-48-0301
(大塔行政局 産業建設課)



大塔青少年旅行村 MAP 1 D-3
GWと6月～10月／●チェックイン 13:00～16:00まで／アウト10:00まで
所 和歌山県田辺市下川下1299
☎お問合せ専用:0739-48-8153
管理事務所:0739-63-0133



道の駅ふるさとセンター大塔 MAP 1 D-2
営業 9:00～17:45(※トイレ・駐車場・公衆電話は24時間利用可。)
休 火曜日(※祝祭日は営業)12/30、12/31
所 和歌山県田辺市鮎川997-1
☎0739-49-0143



富里温泉「乙女の湯」 MAP 1 D-3
営業 夏季(4月～11月):月～土曜 16:00～21:00、日・祝日・お盆(8/12～15)12:00～21:00(木曜日定休)
冬季(12月～3月):金～土曜 16:00～20:00、日・祝日・お正月(1/1～3)12:00～20:00
所 和歌山県田辺市下川下982
☎0739-63-0126



清らかな流れと緑濃い山はカヌーや釣りなどネイチャーアクティビティの舞台



安川溪谷



自然に恵まれた大塔地区には、アウトドアライフの拠点があります。
三川地区には、全長約3kmにわたって連なる大小の滝と巨岩奇岩があり、自然美を堪能することができ、百間山溪谷や安川溪谷、レンタルボートや釣りが楽しめる合川ダムがあります。
国道371号沿いの富里地区には、三方を日置川に囲まれた「大塔青少年旅行村」や手作りカヌーにチャレンジできる「カヌー工房」があります。
安川溪谷等の自然散策を楽しんだら、温泉でのんびりしたいものです。大塔青少年旅行村のほど近くに富里温泉「乙女の湯」があります。地下1300mから湧出するナトリウムイオンを多量に含む療養泉です。
乙女の湯の名は半作嶺が遠くから見ると女性の姿に見える「乙女の寝顔」と呼ばれることから名づけられました。大自然に囲まれた温泉でのんびりする時間は、最高のリフレッシュタイムです。



半作嶺(乙女の寝顔) MAP 1 D-3



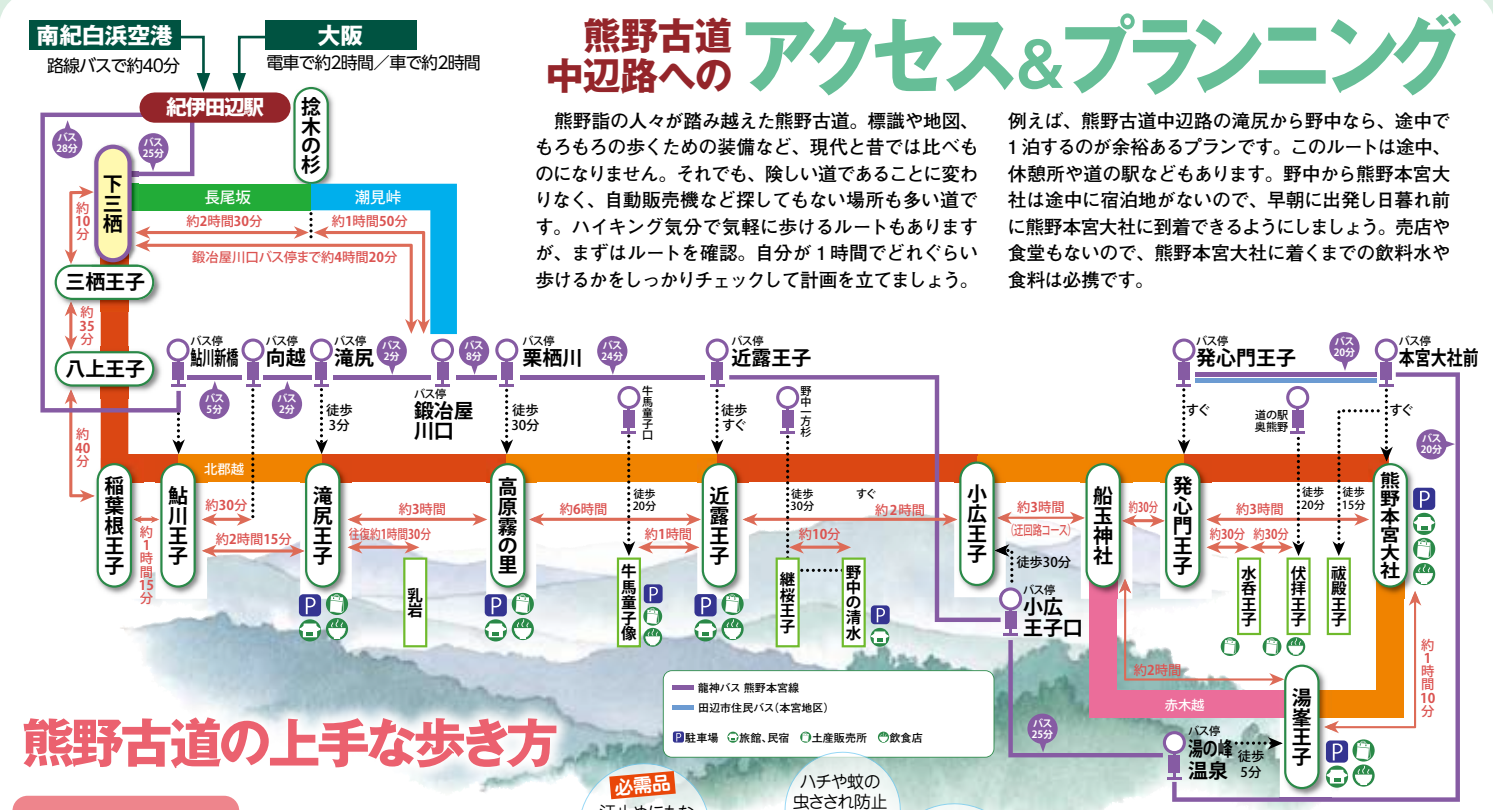
合川ダム MAP 1 E-3



大塔の自然と富里温泉を満喫



田辺 大塔地区



熊野古道の上手な歩き方

装備と服装

熊野古道を歩く服装や装備は基本山歩きと同じです。せっかくの熊野古道、イラストの注意を参考にケガなどないよう楽しく歩きましょう。

必須品

汗止めにもなる帽子は必携。ハットタイプがベター

ハチや蚊の虫さされ防止の為、肌の露出をさける

リュックは必須。肩や腰への負担が少なく、しっかり歩ける

汗や湿気を素早く逃がす速乾性のトップス

準備したいもの

- 雨具(荷物ごとかぶれるポンチョがあると便利)
- 地図
- タオル
- チョコレート、飴など
- 飲料

あとと安心

- 懐中電灯
- 虫除けスプレー
- 絆創膏など救急医薬品
- 軍手
- 着替え(Tシャツなど)

日焼け、虫刺され予防のため、夏でも半袖は避けたい

バッグは両手が自由になる肩掛け式のもの

ハイヒールはダメ。足も靴も傷めることに

履きなれたシューズ、または低山登山向けの靴を

夏でも歩きやすい素材のロングパンツで

最低10の飲料を。夏場は多めに用意しよう

あると安心

晩秋から早春にかけての冬場は防寒対策をしっかりと。春秋は雨具代わりにケガなどないよう楽しく歩きましょう。

スポンジ巡りだけの場合でも、ロングパンツがおすすめ

朝食弁当サービス

熊野古道ウォークに早朝出発するときは、宿での朝食をお弁当に替えられるのかどうか聞いてみましょう。古道近くの宿泊施設のほとんどが対応してくれますので、前日の夕方までに相談しておきましょう。めはりずしやおむすび、漬け物など、素朴なお弁当ながら、朝の空腹をやさしく満たしてくれます。

送迎サービス

熊野本宮温泉郷などの宿泊施設では、発心門王子まで送迎をしてくれるところもあります。熊野古道を歩いたあと、宿泊施設までの公共交通機関がない場合がありますので、事前に問い合わせしておくと安心です。

搬送サービス

●乗用車搬送サービス

車で熊野古道の入り口まで行ったら、車はどうやって取りに帰るの? そんなときに便利なサービスです。中辺路町の熊野古道館で手続きをすれば、中辺路商工会指定の駐車場まで車を回送してくれます(有料)。区間は滝尻～近露または高原～近露。滝尻～本宮、近露～本宮などの区間もOKです。(←詳しくは17ページをご覧ください)

平安衣装貸出サービス

●平安衣装で結婚式

本宮町商工会では「歴婚のスズメ」を行っています。歴婚とは、歴史的な場所で歴史的な体験をし、いにしえの時を感じる結婚式をあげるというコンセプト。平安衣装に身を包み、熊野本宮大社で挙式。雅やかで荘厳な記念の日はいかがでしょう。

●平安衣装で記念撮影

中辺路町の熊野古道館や熊野本宮大社前では平安衣装をレンタルできます。市女笠にあでやかな衣装、掛帯、掛守の平安時代の旅装束で記念撮影。平安時代の熊野詣気分でも参拝してみたいのが良いでしょう。着替えは上着を脱ぐだけでOKなので気軽に。

語り部・ガイド

田辺市には地元の歴史や文化、自然を熟知した語り部たちがいます。旅先で知りたいことをいっしょに歩きながら教えてくれる語り部との旅は楽しく、行った場所に対する思いもより深くなります。(←詳しくは17ページをご覧ください)

荷物搬送サービス

熊野古道を歩きたいけれど、荷物をいっぱい持って歩くのは難しいという場合におすすめです。(←詳しくは17ページをご覧ください)



季楽里龍神大浴場 MAP 5 A-2

龍神温泉の歴史

日高川源流近くの山あい湧く龍神温泉は、かつて秘境の温泉といわれました。いまでは高野龍神スカイラインで高野山と結ばれ便利になりましたが、静かな温泉街に秘境の面影が色濃く残っています。修験道の開祖役行者小角が発見し、弘法大師が開湯したとされる長い歴史を持つ温泉です。江戸時代には紀州藩の別荘温泉地としても栄えました。大正から昭和にかけて書き継がれた中里介山の長編時代小説『大菩薩峠』によつて、龍神温泉の名は全国に知られるようになりました。

日本三美人の湯

龍神温泉は、島根県の湯の川温泉、群馬県の川中温泉とともに日本三美人の湯に数えられます。龍神村にはほかにも丹生ノ川温泉や小又川温泉、釜の崎温泉などいずれも肌にやさしい温泉が湧き、日帰り入浴施設で気軽に楽しむことができます。



龍神温泉元湯 MAP 5 B-1



龍神街道に沿って紀州藩ゆかりの老舗宿も残る

龍神温泉

日本三美人の湯

高野龍神スカイライン
MAP 1 A-3/B-3



龍神村内の豊かな自然を
電動アシスト付き自転車で
お楽しみください



Eバイクと呼ばれるMTBタイプと安定性のある3輪タイプ、2種あり、どちらもレンタル可能です。自転車に乗って初めて知るスポットや景色、車では気づかない龍神村の魅力を感じてください。

料金：1時間/1,000円(市内在住の方500円)～
詳細は龍神観光協会HPでご確認下さい。

貸出施設: Map5 B-1 龍神温泉元湯(別館)、
Map1 C-2G.WORKS<水曜定休>、
Map1 C-2 龍神村商工会青年部
(龍神行政局内)<土日祝定休>
の3か所です。

泉質 ナトリウム炭酸水素塩泉(重曹泉)
泉温 48℃
効能 冷え性、肩こり、神経痛など
特徴 入浴すると肌がツルツル、しっとりする、化粧水いらすのよく温まる湯です。



湯の峰温泉

MAP 4 C-1/D-1 MAP 1 C-4

湯の谷川にある源泉から湧き出る湯けむりが温泉街を包んでいます。川の両脇に並ぶ湯宿にも、歴史を重ねた風格が感じられます。その昔には熊野詣の湯垢離場だった湯で、今も熊野本宮大社の例大祭は湯の峰温泉での湯登神事から始まります。肌が滑らかになる泉温92℃の名湯であり、なかでも名高いのは営業する公衆浴場として世界でも唯一の世界遺産に登録されている「つば湯」です。小栗判官蘇生の湯として知られ、目によつて7回色を変えることもあるという不思議な湯は、熊野の癒しそのもののようです。



湯筒 MAP 4 C-1



つば湯 MAP 4 B-1



熊野本宮温泉郷には旅心を満たしてくれる、表情豊かな温泉が点在しています。とりわけ1800年もの昔に発見されたという湯の峰温泉は、日本最古の温泉として、また小栗判官と照手姫のせつなくも心温まる伝説が残るロマンの湯として知られます。車塚や力石など判官ゆかりの史跡、湯釜王子など温泉にまつわる見どころにも足を運んでみたいものです。



熊野本宮温泉郷



丹生ヤマセミの郷キャンプ場
田辺市龍神村丹生ノ川275-2
☎0739-78-2616



護摩壇山森林公園ワイルドライフ
田辺市龍神村龍神918-61
☎0739-79-0667



宮代オートキャンプ場
田辺市龍神村宮代620
☎0739-78-8080

龍神村のみどころ

霊峰高野山から龍神温泉への一帯を中心とした広大なエリアは、高野龍神国定公園に指定され、国定公園内を南北に走るスカイラインの両脇にはブナやミズナラ、カエデなどの落葉広葉樹林が広がります。護摩壇山山頂近くの田辺市龍神「ごまさんスカイタワー」をはじめ各所にある展望台からは、重なりあう紀伊山地の山並みを見晴らすことができます。春のシャクナゲ、夏のアジサイ、山々が鮮やかに染まる紅葉の秋、冬には樹氷・四季折々の美しさに心を打たれます。

清流と山々の織り成す魅力いっぱいの龍神村はキャンプや釣りなど、アウトドアライフの最高のステージです。また、護摩壇山周辺には、平維盛とお方の悲話や、幕末、天誅組が幽閉された「天誅倉」や陰陽師安倍晴明などにまつわる数々の伝説が残され、語り継がれています。



天誅倉 MAP 1 B-3 MAP 5 C-2



小森谷溪谷 MAP 1 A-3/B-3



道の駅「田辺市龍神ごまさんスカイタワー」
☎0739-79-0622
田辺市龍神村龍神1020-6



道の駅「龍神」(ウディプラザ木族館)
☎0739-79-0567
田辺市龍神村龍神170-3



道の駅「水の郷日高川 龍游」
☎0739-77-0380
田辺市龍神村福井511

渡瀬温泉

MAP 1 D-4 MAP 4 C-2



熊野川の支流四村川に湧く温泉です。ホテルや日帰り入浴が可能なお大露天風呂のほか、寝湯、気泡湯、圧注浴、高温低温湯、蒸気湯に温泉プールを備えた温泉センターもあります。敷地内にはコテージやキャンプ場も併設されていて山の緑の中で温泉とアウトドアライフを併せて楽しむことができます。



渡瀬温泉 大露天風呂

川湯温泉

MAP 1 C-5 MAP 4 D-2/D-3



大塔川の川原を掘ると73℃の湯が湧く、全国でも珍しい温泉です。夏には川遊びをしながら、スコープ片手にオリジナル露天風呂をつくる風景を良く見かけます。また、冬には川の二部をせき止めてつくられた「仙人風呂」でも有名です。千人は入れるという広大な露天風呂は野趣満点で、冬の風物詩となっています。



仙人風呂(12月～2月末 ※入浴無料)

ひき岩群 [MAP 1 D-2](#) [MAP 2 A-3](#)奇絶峽 [MAP 1 D-2](#)紀州石神田辺梅林 [MAP 1 D-2](#)磨崖三尊大石仏(奇絶峽)
[MAP 1 D-2](#)不動(赤城)の滝(奇絶峽)
[MAP 1 D-2](#)南方熊楠顕彰館
[MAP 2 C-3](#) [MAP 3 C-2](#)道の駅紀州備長炭記念公園
[MAP 1 D-2](#)高山寺 [MAP 2 B-3](#) [MAP 3 A-2](#)田辺祭(闘雞神社例大祭)
[MAP 2 C-3](#) [MAP 3 C-3](#)田辺市文化交流センター たなべる
(歴史民俗資料館併設) [MAP 2 D-3](#) [MAP 3 D-2](#)世界遺産 闘雞神社 [MAP 2 C-3](#) [MAP 3 C-3](#)天神崎 [MAP 1 D-1](#) [MAP 2 C-1](#)田辺扇ヶ浜海水浴場 [MAP 2 D-3](#) [MAP 3 D-1/D-2](#)植芝盛平記念館 [MAP 2 C-3](#) [MAP 3 D-2](#)

田辺観光ボランティアガイドの会

田辺市の自然風土や歴史、文化について、ガイドブックには載っていないような楽しい話題をちりばめて案内してくれます。コースは城下町田辺の散策や田辺を起点とした熊野古道紀伊路・中辺路・大辺路などがあります。地元ならではの素朴で温かいおもてなしトークを聞きながら、楽しく散策できます。田辺市観光センターで、一人から団体までの申し込みを受け付けています。

電動アシスト自転車

田辺のまちなか散策は自転車利用もおすすめ。少し遠いと感じる場所でも電動アシスト自転車なら気軽に移動できるので体力に自信がなくても大丈夫。田辺の街を風と一緒に楽しめます。田辺市観光センター、田辺市街なかポケットパークにて貸し出しています。500円/日(※保証金500円)

JR紀伊田辺駅と田辺市観光センター
[MAP 1 D-2](#) [MAP 2 C-3](#) [MAP 3 C-3](#)

田辺市街地



海と山の美しい風景に包まれた田辺市沿岸部は、天然の良港を擁し、牟婁の津として知られ、熊野詣が盛んになった平安時代中期から、熊野古道中辺路と大辺路の分岐点にあったことから口熊野と呼ばれ、熊野三山への宿場町、水陸交通の要衝として栄えてきました。江戸時代には、紀州藩主徳川頼宣公の執政家老安藤直次のもと、三万八千八百石の城下町として栄え、紀南の政治・経済・文化の中心地として発展してきました。さまざまな時代の歴史を刻む街に史跡と景勝を訪ねる旅をしてみましょう。

道分け石

大満神社の鳥居のすぐ側を熊野古道大辺路が通る
[MAP 2 E-5](#)

JR紀伊田辺駅前の弁慶像



景勝地もたくさんあります。田辺湾には日本のナショナルトラスト運動先駆けの地として有名な「天神崎」があり、田辺の豊かな自然を象徴しています。会津川の上流の「奇絶峽」は紅葉と桜の名所で、堂本印象画伯の原画による「磨崖仏」や「不動(赤城)の滝」でも有名です。また、奇岩が林立する「ひき岩群」も田辺を代表する奇勝です。早春には梅の香りに包まれ、一目三十万本といわれる「紀州石神田辺梅林」もおすすです。田辺の梅は、平成27(2015)年に「みなべ・田辺の梅システム」として世界農業遺産にも認定されました。梅システムを支える新炭林を活用した紀州備長炭について知りたいは、「道の駅紀州備長炭記念公園」にもぜひ足を向けてください。

扇ヶ浜潮垢離場
[MAP 2 D-3](#) [MAP 3 D-2](#)潮垢離場跡 [MAP 2 C-2](#)田辺城水門跡
[MAP 2 C-3](#) [MAP 3 C-1](#)田辺市街なかポケットパーク
[MAP 2 C-3](#) [MAP 3 C-2](#)蟻通神社 [MAP 2 C-3](#) [MAP 3 B-2](#)

田辺市ゆかりの人物



田辺市立武道館の正面にある植芝盛平像は、昭和63(1988)年に盛平翁の生まれ故郷田辺市で、第5回国際合気道大会が開催されたのを記念して建てられました。

MAP 3 D-2

南方熊楠

【みなかたぐみくす】

世界的博物学者で、日本民俗学の創始者、柳田國男をして「日本人の可能性の極限」といわしめた南方熊楠は、慶応3(1867)年に和歌山城下に生まれました。十数カ国語を駆使し、植物学、民俗学など多方面にその才能を発揮しました。南方熊楠の名を世界的に有名にしたのは、科学雑誌『ネイチャー』『フツアンドクエリズ』への寄稿でした。『ネイチャー』誌に掲載された熊楠の論文は50本に上り、現在でも個人では最多掲載数であると言われています。また、現在もとも注目されているのは、エコロジの先駆者としての熊楠です。逮捕されてまで神社合祀に反対したのは、鎮守の森として守られてきた森林がなくなることにより、熊野の植生全体が脅かされることをいち早く察していたためといわれます。明治37(1904)年から田辺に住み、田辺湾に浮かぶ神島の保護を訴えはじめ、野中の「方杉(継桜王子)や那智原始林、熊野古道の社叢等が現存しているのは熊楠の功績といわれています。紀州の生んだ巨星は昭和16(1941)年、田辺市中屋敷町で亡くなりました。墓地は熊野の海と山を見晴らす高山寺にあります。



南方熊楠邸 南方熊楠顕彰館に隣接して現存。問い合わせ先:南方熊楠顕彰館 ☎0739-26-9909

植芝盛平

【うえしばもりへい】

合気道の創始者、植芝盛平翁(1883~1969)は田辺市上の山生まれ。19歳で修業の旅に出て武術遍歴と精神的修養を重ねつつ、独自の武術を習得しました。大正11(1922)年に独自の武術を「合気武術」と名付け、日本だけでなく世界に広めました。生涯を通じて求道鍛錬を重ねた盛平翁は常々、合気道とは相手と相和して切磋琢磨をはかり自己の人格完成を目指す武道だと述べています。盛平翁についての逸話も各地に残っています。田辺市高山寺の道場に残るのは、盛平翁が壁に指一本を押しつけただけの腕に、二人の柔道家(約150kg)がぶら下がったというもの。盛平翁70歳の時のことです。植芝盛平翁の墓はその高山寺にあります。また、令和2(2020)年10月に扇ヶ浜に完成した田辺市立武道館に併設する植芝盛平記念館では、盛平翁の生涯を学ぶことや合気道の作法等も気軽に体験することができます。

山本玄峰

【やまとげんぽう】

山本玄峰老師(1866~1961)は田辺市本宮町出身の禅僧です。昭和になつて著名人が数多く参禅した、静岡県三島市の龍沢寺住職として名高く、鈴木貫太郎首相に終戦を勧め、新憲法における天皇の地位につき象徴天皇制を示唆しました。また、終戦の詔勅「耐え難きを耐え、忍び難きを忍び」の文言を進言したことも知られています。十代前半頃から貧乏生活などの肉体労働に従事し、失明したのち各地を放浪、7回目の四国八十八箇所巡礼の途上で倒れたところを助けられた高知県雪渓寺で厳しい修行の生活に入りました。全国の寺々を回って修行し、また寺の再興にも力を尽くしました。欧米各国を訪問して帰国後妙心寺派官長、のちに龍沢寺の住職になりました。96歳で断食して遷化。田辺市本宮町渡瀬にお墓があります。



湯の峰温泉の東光寺前にある山本玄峰老師を称える「玄峰塔」。毎年命日の6月3日にはこの前で法要が営まれます MAP 4 C-1

武蔵坊弁慶

【むさしほうべんけい】

J R紀伊田辺駅に降り立つと、堂々とした弁慶像が迎えてくれます。牛若丸源義経との京都五条大橋での出会いや、奥州平泉で仁王立ちして戦死した話など、さまざまな伝承が残る武蔵坊弁慶の出生地は田辺と伝えられています。『義経記』や『弁慶物語』などを基に伝説として語られることが多く、その実態は明らかではありませんが、熊野別当嫡子である説や幼少期にまつわる史跡が多く残ることから、田辺生誕説が有力視されています。弁慶の父とされる熊野別当湛増ゆかりの關難神社をはじめ、弁慶の腰掛石や弁慶松などの史跡が田辺市内各所にあります。田辺のかわいいイメージキャラクター「たなべえ」としても人気です。



八坂神社とその境内にある「弁慶の腰掛石」 MAP 2 C-3 MAP 3 C-1



歳時記



熊野本宮大社例大祭



ホタル



田辺祭



熊野古道清姫まつり



八咫の火祭り



弁慶まつり



野中の獅子舞



仙人風呂(川湯温泉)



南国紀州の雪遊び

1日◆アマコ解禁／日高川・富田川・日置川・熊野川／各河川の漁業組合へ

13~15日◆熊野本宮大社例大祭／本宮町／熊野本宮大社0735-42-0009

29日◆七越祭／本宮町七越／10:30~／熊野本宮観光協会0735-42-0735

3日◆船玉神社祭／本宮町発心門／熊野本宮観光協会0735-42-0735

5日◆御田植神事／稲成町・伊作田(いさいだ)稲荷神社／熊野本宮観光協会0739-26-9929

下旬~6月上旬◆ホタル観賞会／長野地区／熊三栖コミュニティセンター0739-34-0022

下旬~6月上旬◆ホタル観賞会／鮎川小川地区／大塔観光協会0739-48-0301

下旬~6月上旬◆鮎解禁／日高川・富田川・日置川・熊野川／各河川の漁業組合へ

1日~8月31日◆扇ヶ浜海開き／田辺扇ヶ浜海水浴場／熊野観光協会0739-26-9929

13日◆ぎおんさん夜見世／新庄町名喜里／熊野市観光振興課0739-26-9929

24・25日◆田辺祭／東陽・關難神社／關難神社0739-22-0155

最終土曜日◆熊野古道清姫まつり／中辺路総合グラウンド／熊野古道館0739-64-1470

月上旬◆大塔地球元気村・大塔花火大会／鮎川・大塔水辺の楽校／大塔行政局0739-48-0301

8日◆ヤーヤー祭／田辺市商店街／熊野市商店街振興組合連合会0739-22-2900

15日◆流れ施飯鬼／下川上19:00頃／大塔教育事務所0739-48-0212

下旬◆献湯祭／熊野本宮大社境内9:00~／熊野本宮観光協会0735-42-0735

月上旬◆田辺花火大会／扇ヶ浜／熊野観光協会・田辺市観光振興課0739-26-9929

月上旬◆弁慶まつり／關難神社・カッパーク・田辺市内商店街／熊野市観光振興課0739-22-5064

月上旬◆杵荒(きなら)神社奉納祭／中辺路町栗栖川・杵荒神社境内／熊野古道館0739-64-1470

第1日曜日◆丹生神社祭典／龍神村東・丹生神社／熊野市観光協会0739-78-2222

3日◆熊野古道絵巻行列／中辺路町高原地区／熊野古道館0739-64-1470

3日◆芳養八幡神社秋祭／中芳養／熊野市観光協会0739-23-1770

3日◆住吉踊／長野・長野八幡神社／熊野市観光振興課0739-26-9929

3日◆上野の獅子舞／富里・春日神社／大塔教育事務所0739-48-0212

3日◆野中の獅子舞／中辺路町近野地区(近野神社、継桜王子)／熊野市観光協会0739-64-0500

3日◆皆瀬神社祭典／龍神村龍神・皆瀬神社／熊野市観光協会0739-78-2222

3日◆荒嶋神社祭典／龍神村甲斐ノ川・荒嶋神社／熊野市観光協会0739-78-2222

23日◆万呂の獅子舞／下万呂・須佐神社／熊野市観光協会0739-26-9929

中旬◆八咫の火祭り／本宮町本宮(大斎原)／熊野本宮観光協会0735-42-0735

中旬◆田辺・弁慶映画祭／紀南文化会館／熊野市・弁慶映画祭実行委員会0739-26-9929

中旬~下旬◆翔龍祭／龍神村／熊野市観光協会0739-78-2222

(旧暦11月23日)◆三日月観月会／本宮町本宮 大日山頂付近／21:30~0:00頃

JR紀伊田辺駅から龍神バスで本宮大社前下車／熊野本宮観光協会0735-42-0735

(旧暦11月23日)◆三日月観月会／中辺路町熊野古道(潮見峠)／21:30~0:00頃／熊野古道館0739-64-1470

12月1日~2月末◆仙人風呂オープン／川湯温泉6:30~22:00／熊野本宮観光協会0735-42-0735

第1日曜日◆龍神温泉木の郷マラソン大会／龍神温泉／熊野市観光協会0739-78-2222

3日◆野中の獅子舞／中辺路町野中地区(継桜王子)／熊野古道館0739-64-1470

8日◆湯峯八日薬師祭／本宮町湯峯／熊野本宮観光協会0735-42-0735

12日◆川湯十二薬師祭／本宮町川湯／熊野本宮観光協会0735-42-0735

中旬◆仙人風呂感謝祭／本宮町川湯温泉仙人風呂／熊野本宮観光協会0735-42-0735

下旬◆南国紀州の雪遊び／護摩壇山／熊野市観光協会0739-78-2222

中旬◆溺い神事／稲成町・伊作田(いさいだ)稲荷神社／熊野市観光協会0739-26-9929

月上旬~3月上旬◆紀州石神田辺梅林／上芳養／熊野市田辺観梅協会・田辺市観光振興課0739-26-9929

毎月のイベント

弁慶市／扇ヶ浜公園カッパーク／毎月第3日曜8:00~12:00頃
熊野市観光協会(株)0739(25)8230

※上記の祭・神事・イベントは2021年5月現在のものです。
変更することもありますので、各お問い合わせ先へご確認ください。



熊野本宮大社例大祭

春

夏

秋

冬

少し足をのばして――

周辺観光

南紀には、田辺だけでなく魅力のあるエリアがたくさんあります。世界遺産、温泉、紺碧の太平洋、そして紀伊山地から流れ下る清流。どんな世代でも楽しめる旅プランの宝庫、それが南紀です。



田辺市の隣にある関西を代表する温泉リゾートです。万葉の昔から人々に愛された白浜温泉を円月島や三段壁などの景勝地が囲んでいます。アミューズメントも充実しています。なかでも、7頭もジャイアントパンダがいる動物テーマパーク「南紀白浜アドベンチャーワールド」は子供から熟年層まで楽しめる大人気スポットです。【田辺市街地から車で約20分】



海の魅力をもっと楽しめるエリアです。目の前に太平洋の大海原が広がる本州最南端の潮岬、弘法大師伝説の残る奇勝橋杭岩、対岸の大島では南紀を代表する絶景海金剛を見ることができます。また、世界最北端のサンゴ群落が広がる串本の海は、熱帯的景観を温帯の海で見ることのできる世界でも珍しい場所です。【田辺市街地から車で約1時間10分】

本宮と隣接する奈良県十津川村は紀伊山地の山懷に広がる広大な村です。峰々を越えて延びる大峯奥駈道や熊野古道小辺路、玉置山に鎮座する玉置神社が世界遺産に登録されています。秘境の面影濃い温泉は全村が源泉かけ流しを宣言し、峡谷にかかる日本最長の鉄線吊り橋、谷瀬の吊り橋も人気です。【田辺市街地から車で約2時間】



熊野三山の一つ、熊野速玉大社が鎮まる新宮市も田辺市の隣にあります。いにしへの熊野詣では、熊野本宮大社から熊野速玉大社まで熊野川を舟で下ることが多く、熊野川は川の参詣道として世界遺産に登録されています。また、熊野川の支流北山川の峡谷「瀨峡」は紅葉の名所として知られています。【田辺市街地から車で約2時間】

新宮 那智勝浦

MAP和歌山県E-5

新宮市に隣接する那智勝浦町は美しい那智の滝がかかる那智山と南紀勝浦温泉、さらに日本有数のマグロ漁業基地としても知られる町です。那智山に詣でたあと、本場のマグロを食するものこの地を旅する大きな魅力になっています。【田辺市街地から車で約2時間】

高野山

MAP和歌山県B-3

龍神温泉から高野龍神スカイラインでひと足のばせば、真言密教の聖地高野山があります。八葉の峰と呼ばれる1000m級の山々に囲まれた標高800mの山上に弘法大師が修禅道場を開いたのは弘仁7(816)年。以来、さまざまな困難を乗り越えて、今も117の寺院が立ち並び法灯を守り続けています。山上の清らかな空気の中で1200年余の歴史を感じながら、静かに歩きたい聖地です。【田辺市街地から車で約2時間30分】



壇上伽藍



奥之院

旅行予約サイト

熊野トラベル KUMANO TRAVEL

熊野地方を中心に、紀伊半島南部を広域的にカバーする一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューローが運営する着地型旅行の予約サイトです。現地を知り尽くしたスタッフが作り上げた“モデルコース”からお宿やサービス、オプションツアーを組み合わせたり、宿のみ、オプションツアーのみでも自由に予約したりすることができます。ぜひご利用ください。

着地型旅行とは？

現地発着・地元滞在型企画旅行(パッケージ旅行)のことです。旅行者の価値観やニーズが多様化するなか、従来のツアーでは満足できない旅行者に対し、小ロットでも価値のある旅行企画を作ることができるのが特徴です。熊野トラベルは、地域とともに将来に渡って持続可能な観光地を目指し、皆様とともに地域を盛り上げていく旅行業を提供いたします。

旅の目的などに応じて、次の4つの選択肢からお選びいただけます。



モデルコースから選ぶ

現地を知り尽くした熊野トラベル運営スタッフがおすすめするモデルコースに添って、お客様自身が宿やオプションツアーを自由に選択していただく、お客様だけのオリジナルツアーです。それぞれの選択肢から選んでお申込みください。



宿から選ぶ

目的が決まっていたら地域を絞って宿を選べます。地図からも検索できます。カテゴリーから選ぶ ホテル、旅館、民宿、ペンション、B&Bなど、宿の形態から選択してください。



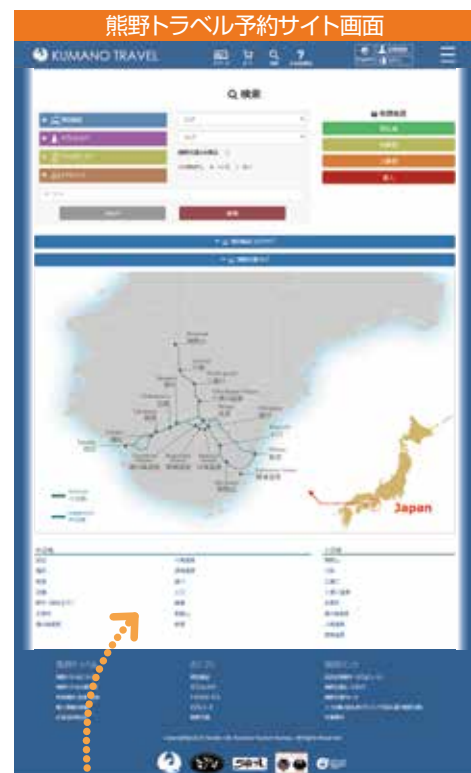
オプションツアーから選ぶ

現地発着のツアーです。数時間～1日などのツアーがありますので、ご希望に沿うオプションツアーを選択してください。



サービスから選ぶ

熊野古道を歩くときに手荷物搬送や乗用車搬送、お弁当が必要な方は選択してください。



熊野トラベルが自信を持ってお届けするオススメプラン

熊野トラベル 検索

kumano-travel.com

まずは、アクセス！安心してご利用いただけます。

語り部・ガイドリスト

世界遺産や自然文化等、語り部・ガイドが詳しくご案内いたします。

エリア	語り部・ガイド団体名	TEL・URL
田辺	田辺観光ボランティアガイドの会	0739-25-4919 https://www.tanabe-kanko.jp/course/guide/
	熊野百間溪谷自然学校	090-5882-0753
熊野古道	田辺国際英語ガイドの会(大河 TIEGA)	0739-26-0710 https://tiega.yamanoha.com/
	一般社団法人和歌山地域通訳案内士会	0739-33-7451 https://wakayamalocalguide.com/jp/
	Kumano Trek	0739-25-0646 http://ameblo.jp/kumano-trek/

エリア	語り部・ガイド団体名	TEL・URL
熊野古道	語り部の会 熊野古道中辺路	0739-64-1350 http://www2.plala.or.jp/hyoutan/
	うた加楽衆(うたがらす)	0739-64-1870 http://utagarasu.com/
	熊野三休月語り部の会	0739-26-2414 https://www.kiilife.jp/od/kumano-santaizuki
	熊野古道語り部の会	090-1026-1118 http://www.nakahechi.jp/nakahechi_kataribe.html
	古道語りべ・熊野赤リユック	0739-22-2100 (龍神自動車内) http://homepage3.nifty.com/ayu-takijirouji/akarixyutku.htm
	熊野本宮語り部の会	0735-42-0735 (熊野本宮観光協会内) http://www.hongu-kataribe.jp